

口絵



坪井上遺跡出土ヒスイ製大珠

茨城県常陸大宮市・坪井上遺跡は那珂川，久慈川，玉川に囲まれた台地上に立地する複合遺跡であり，縄文時代中期の拠点集落跡として知られる。坪井上遺跡では，発掘調査時に3点と調査前の農作業中に発見された5点の計8点の硬玉（ヒスイ）製大珠が知られている。ヒスイ製大珠は東日本に流通した縄文時代中期を代表する装身具である。

日本列島で発見されたヒスイ製品は蛍光X線分析による調査が行われ，列島各地のヒスイの原産地から採取された原石の組成分析により，元素強度比を用いた原産地の判別基準が示されている。8点のヒスイ製大珠のうち7点に対して蛍光X線分析を行い，原産地の推定を試みた。

村串 まどか